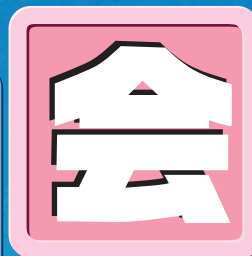




ながはま



だより

Vol. 50

平成30年7月15日発行
発行：長浜市議会
編集：広報広聴委員会

平成30年第2回定例会が6月4日から6月27日まで(24日間)の日程で開催されました。

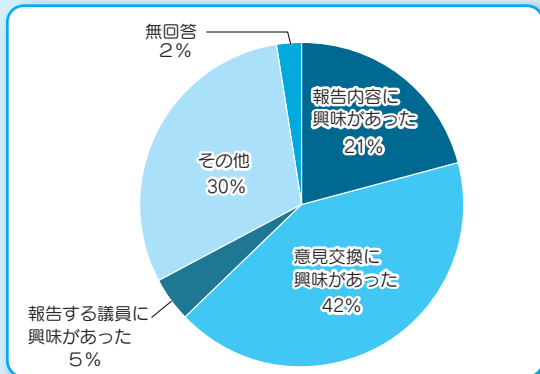
第10回市民の皆さまとの意見交換会を開催しました	2面
常任委員会・特別委員会での審査内容をお知らせします	3～4面
市政を問う（個人一般質問事項と答弁概要）	4～15面
議案に対する各議員の賛否	15面
お知らせ、議会の動き、編集後記	16面

第10回 市民の皆さまとの意見交換会を開催しました

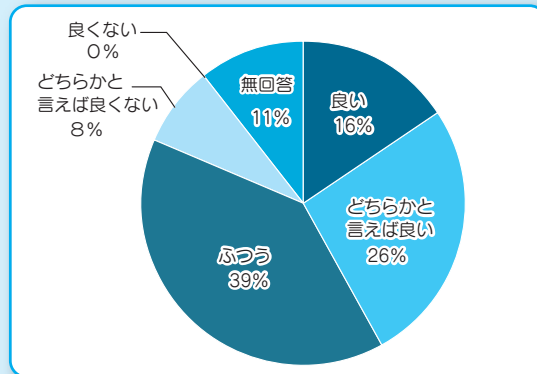
【参加者数：50名 テーマ:地域づくりについて】

意見交換会アンケート集計結果

参加しようと思った理由は



参加していかがでしたか



充実した地域づくりに向け、より深く議論、意見交換をさせていただくため、各地域づくり協議会様との意見交換会を開催しました。

今回は、木之本・長浜の2会場で開催し、市内24地域のうち21協議会から、それぞれ2～3名の方に参加をいただきました。

木之本会場ではテーマ「地域づくりについて」をもとに、参加の各地域づくり協議会から「地域づくりの取組の現状」についてのご意見も伺いました。

その他、両会場でいただいた主なご意見は、以下のとおりです。

- Q. 任意団体のままでは責任の所在などの課題があるが、法人化については、どこに着目し議論されたのか。
- A. 法人化することで、コミュニティビジネスが増える等の可能性があります。市として法人化を推進されるので、しっかり委員会でも議論しています。
- Q. 公共交通網形成計画策定時のヒアリングにおいて、高齢者の交通手段の確保を市へ伝えたが、実現にはハードルが高く、支援をお願いします。

A. 委員会としても地元意見を十分に反映してほしいと伝えていますが、今のご意見もしっかり反映していきたいと考えています。

Q. 住民自治として推進大会を年2回開催しているが、なかなか行動、実行までたどり着かない。人材育成に力を入れ、皆で取り組んでいきたい。

A. 地域での連携をしっかりと願います。

意見交換会は、実施内容等を広報広聴委員会を中心に検討しながら、今後も開催してまいります。

長浜市議会では議会改革の一環として、市民の皆様に市政に関する情報提供や予算（決算）の報告及び説明、議会に対する意見等を伺い、市民に開かれた議会を目指しております。

長浜市議会 第10回市民の皆さまとの意見交換会

- 第1部 平成30年度予算・常任委員会審査報告
- 第2部 テーマ「地域づくりについて」意見交換

5月21日（月）午後7時～ 木之本まちづくりセンター

5月22日（火）午後7時～ 市民交流センター

主催 長浜市議会・広報広聴委員会 TEL 65-6547

各常任委員会の報告

各常任委員会では、第2回定例会で付託された議案15件について審査を行いました。

長浜市民スポーツ施設条例の一部改正等を審査

総務教育常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、「議案第75号 長浜市民スポーツ施設条例の一部改正について」及び「議案第79号 工事請負契約について」の2件で、慎重審査の結果、いずれも全員一致で可決すべきものと決しました。

▼標記議案は、本年8月31日をもって木之本運動広場プールを廃止するものです。昭和50年に開設された同プールの老朽化と（仮称）北部地域総合体育館の整備に伴い廃止となります。

▼議案第79号は、虎姫まちづくりセンター改修工事に関するものです。平成31年4月30日までに、耐震改修、外装・内装の大規模改修、多目的トイレ及びエレベーターの新設等を行うもので、税込3億2,130万円で契約するものです。

▼付託議案以外の協議事項として、「長浜市子ども読書活動推進計画（第3次）の策定について」、「長浜市スポーツ推進計画の中間見直しについて」、「『菅浦文書』国宝化に伴う地域振興策について」及び「長浜市立学校給食センターにおける給食費の改定について」の4件について、当局から説明を受けました。

長浜市病院事業の設置等に関する条例の一部改正等を審査

健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、「議案第67号 専決処分事項の承認を求めることについて（専決第3号）」等、専決処分事項の承認1件、条例の一部改正4件で、慎重審査の結果、いずれも全員一致で承認・可決すべきものと決しました。

▼「議案72号 長浜市税条例等の一部改正について」は、地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い改正するもので、①固定資産税の「わがまち特例」に関する事項②個人所得課税に関する事項③たばこ税に関する事項について審査しました。

▼「議案第76号 長浜市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について」は、地域医療支援病院の承認を受けたことによる初診・再診に係る費用の改正等を審査しました。

▼「議案77号 長浜市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」は、放課後児童支援員の資格要件の明確化・拡大について審査しました。

▼「議案第78号 長浜市個人番号法に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部改正について」は、個人番号の利用範囲の追加について審査しました。

市道の路線の廃止及び認定等について審査

産業建設常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、標記の「議案第80号 市道の路線の廃止及び認定について」、「議案第73号 長浜市農業集落排水処理施設条例の一部改正について」及び「議案第74号 長浜市公共下水道事業に係る受益者の負担に関する条例の一部改正について」の3件で、慎重審査の結果、いずれも全員一致で可決すべきものと決しました。

▼標記議案は、産業文化交流拠点施設の周辺市道整備に伴い、仮設道路を市道認定するもの等です。

▼議案第73号は、農業集落排水処理施設の公共下水道への接続に伴い、農業集落排水処理施設の用途を廃止するため改正するものです。

▼議案第74号は、農業集落排水処理施設を公共下水道に接続した場合において、公共下水道が設置された一宅地又は一区画地を形成する土地については、公共下水道事業に係る受益者の負担に関する条例に規定する受益者負担金の賦課対象区域の土地としなすものとするため、改正するものです。

▼その他、付託議案以外の協議事項として、「住民監査請求に対する今後の対応について」、「下水道受益者負担金の賦課漏れ事業の処理報告について」及び「長浜市6次産業化推進戦略プランの策定について」の3件について、当局から説明を受けました。

予算常任委員会審査報告

▼当委員会に付託を受けました議案は、議案第66号 専決処分事項の承認を求めることについて（専決第2号）等の5議案です。
6月18日から20日にかけて開催した総務教育、健康福祉、産業建設の各分科会からの報告をもとに、25日に総括的な審査を行いました。

▼審査過程において、事務遂行にあたり指摘や意見、論議された内容、特に付言すべきと考えられた主な事項は次のとおりです。

○市立長浜病院大規模改修事業（議案第70号）

（経過） 今回の改修が病院改革プランに沿った経営的投資となり、総合的な維持管理を行うことにより突発的かつ非効率的な大規模改修が発生しないよう、議会としても今後は、アセットマネジメント計画の立案等を求めていく旨、議論。

（付言） 経営的観念を持ちつつ、再度入札不調とならないよう執行されたい。

○西浅井地区 地域医療推進事業費（議案第68号）

（経過） 地域医療に係る住民や医師を交えた議論に時間がかり、当初予算に計上すべきであったが、補正対応となった。繰越明許の理由として当局からは、一括工事とすることでスケジュール管理がしやすく、別発注とすると工事が遅れるとの回答。

（付言） 今後は所管のその他事業においても計画的に事業を推進し、当初予算に計上できるよう努力されたい。

○田村駅自由通路等基本設計業務（議案68号）

（経過） 議会としても、調査等経費の内訳をしっかりと確認することともに、より整合性をもち効率的・効果的な予算執行となるよう議論。
（付言） 本業務に限らず、予算を説明するにあたっては、積算根拠や内訳をしっかりと示し、より詳細かつ明確な議案及び審査資料とされたい。



中心市街地活性化調査委特別委員会「報告・提言」を行いました

提言内容

【長浜駅東地区整備】

- ・ えきまち長浜㈱の経営の安定と、その改善状況の公表及び市からの貸付金の繰上償還の促進。
- ・ 駐車場の確保、公共交通ネットワーク及び案内看板の整備による誘客促進。
- ・ えきまちテラス長浜運営における特色をもった専門的かつ深い品そろえ及び市民意見の反映。
- ・ 公共歩廊の活用、にぎわい創出。

【長浜駅北地区整備】

- ・ 進捗状況等の公表及び基本協定に基づく事業推進。
- ・ 居住施設以外の商業等機能の工夫による、にぎわいの創出。
- ・ えきまちテラス長浜とタイアップし、子育て応援機能構築の促進。



【旧庁舎跡地

（産業文化交流拠点）整備】

- ・ 建設工事の遅延防止等の工程管理。
- ・ 周辺道路整備中の交通安全対策及び通学路の安全確保。
- ・ 図書館・まちづくりセンター・福祉支援等の各導入機能及び併設施設の連携・相乗効果の発揮による利用しやすい運営。

▼第2期長浜市中心市街地活性化基本計画が最終年度を迎え、長浜駅東地区、北地区、産業文化交流拠点整備に関する事業進捗や効果等について調査等を行ってきた特別委員会では、第2回定例会閉会日において、調査結果報告を行いました。
▼また、中心市街地活性化事業の効果が市全体に波及する取組となるよう議会としての提言をまとめ、市長へ報告するとともに「提言書」を提出しました。

市政を問う

今定例会では、19人の議員が個人一般質問を行いました。

個人一般質問（質問者順） ※下記の質問項目のうち、太字部分について要約し、6～15ページに掲載しています。

- 浅見 信夫議員 ①**滋賀県地域協働交通社会実験事業について** ②生活保護制度について
③土砂等による土地の埋め立て等の規制について ④地方創生について
- 松本 長治議員 ①**長浜の教育のあるべき姿について** ②**市民のための事業について**
- 竹内 達夫議員 ①**市長の女性スキャンダルと利益供与疑惑について**
②**市立病院について** ③**新庁舎建設での利益供与疑惑について**
- 浅見 勝也議員 ①**交通安全対策について** ②**消防水利の維持管理について**
- 鋒山 紀子議員 ①**子どもの見守り防犯対策について** ②**豊公園再整備基本計画について**
- 森田 義人議員 ①**地域振興対策について** ②**子ども読書活動について**
- 轟 保幸議員 ①**高時川の濁水対策について** ②**余呉湖の観光振興について**
- 矢守 昭男議員 ①**旧七尾小学校の建物、跡地等の利用について** ②**高齢者を守る獣害対策について**
③**安心安全な道路利用について**
- 西尾 孝之議員 ①**余呉町農村下水処理場問題** ②**市長の不倫テレビ報道について**
- 中川リョウ議員 ①**スケートボードについて** ②**病院経営について**
- 竹本 直隆議員 ①**長浜市教育長の所信を問う**
- 吉田 豊議員 ①**「えきまちテラス長浜」のニューチャレンジショップとしてグランドオープン後の状況について**
②**長浜駅西側のまちづくりの展望について** ③**長浜駅北地区整備事業について**
④**元浜町13番街区市街地再開発事業について**
⑤**中心市街地活性化基本計画期間終了後のまちづくりについて**
- 佐金 利幸議員 ①**今後の観光振興について**
- 柴田 光男議員 ①**総合型地域スポーツクラブについて** ②**「終活」支援について**
③**しょうがい者支援「ヘルプマーク」の普及について**
- 草野 豊議員 ①**いじめ対策について** ②**重症心身しょうがい者の家族へのレスパイトケアについて**
- 中嶋 康雄議員 ①**水道企業団事業への財政支援について** ②**賤ヶ岳リフト存続への支援について**
③**人口減少下でのまちづくりについて** ④**空き家対策と住宅政策について**
⑤**再生可能エネルギー導入について**
- 山崎 正直議員 ①**通学路の安全対策について**
- 鬼頭 明男議員 ①**就学援助制度について** ②**学校給食について** ③**長浜観光協会について**
④**学校給食自校方式について**
⑤**子どもたちの環境（保育園・幼稚園・小学校・中学校）について**
- 西邑 定幸議員 ①**河川整備事業と災害に強いまちづくりについて**
②**「中村家住宅」の重要文化財指定答申について**
③**「奥びわスポーツの森」について**
④**地方公会計導入で得たデータベースの活用について**

滋賀県地域協働交通社会実験事業
について



浅見 信夫 (日本共産党)

問 デマンドタクシーの充実については、デマンドタクシーが公共交通機関の一つであるという認識が運行地域で浸透してきており、高齢者の通院や買い物などの利便性向上を図ることが求められている。

答 デマンドタクシー7人という利用状況でした。アンケートでは、今回の実証運行に満足いただいております。さらに、区域外停留所として開業医やスーパーなどの量販店を希望されています。実証運行で改めて高齢者のニーズの高さ、生活に直結する停留所の必要性を確認しました。

問 「実験事業」の検証を踏まえ、デマンドタクシーに係る今後の改善方策について伺う。

答 「西黒田・神田地区」など市内4地区で、デマンドタクシーを運行しています。今年10月にすべて運行協定の更新を迎えます。今回の実証運行でのアンケート結果等を踏ま

えて、通院や買い物など需要度の高い運行エリアを超える近距離での「新たな停留所」を追加することや、エリア内での停留所を増設することが、今後の公共交通に対する満足度を高める取組になると考えています。

問 「長浜市公共交通会議」で意見をいただき、新たな運行協定への反映等の準備を進めます。10月から新たにデマンドタクシーを運行する「湖北地区」「高月地区」についても同様の対応を行います。



長浜の教育のあるべき姿について



松本 長治 (要)

問 長浜市が目指すべき理想の教育環境とはどのようなものか。また、広い地域であるがどのように均質な環境を構築していくのか伺う。

答 思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身につけることができる教育環境が重要であり、クラス替えが可能となるような一定規模の集団を確保する必要があります。

問 「事業は〇〇ばかり」とか「うちの方は何もしてもらえない」という声をよく聞く。しかし、地域によって必要とする事業は異なるはずであり、事業費の大きさではなく、本当に必要なことは何かが見極められていない、もしくは十分な説明がされていないことから、このような不満が起きているのではないかと考える。

答 個々の事業は特定の地域での取組であっても、ひいては市域全体の利益に結びつくものであるという、大きな視点での説明も必要であると考えるがどうか伺う。

問 市民のための事業について

答 全市民が「公平で最大限の幸福」が享受できる行政運営が求められます。そのためには、本市がおかれている現状や課題、地域事情などを市民の皆さんと共有し、その解決のために実施する施策の「手続き的な議論」だけでなく、事業を実施することによる直接的な効果や、市全域に広がるような間接的な波及効果についてもしっかりと説明することが重要と考えます。

また、学校適正配置や小中一貫教育の推進にあたっては、保護者や地域の皆さまの合意が得られないなかで再編を進めても、子どもたちが意欲的に学習活動に取り組むといった環境の実現にはつながりません。

また、学校適正配置や小中一貫教育の推進にあたっては、保護者や地域の皆さまの合意が得られないなかで再編を進めても、子どもたちが意欲的に学習活動に取り組むといった環境の実現にはつながりません。

個人一般質問

社会的道義を守れない市長は直ちに辞職せよ!!



竹内 達夫 (日本共産党)

問 市長の女性スキヤンダルと利益供与について、「えきまちテラス」のカフェで働いていた女性とはいつ知り合ったか。

答 女性問題、利益供与疑惑などの行為は、公人で市民のトップの市長は厳に慎むべきだ。心は痛まないのか問う。

答 地方自治法第132条「議会では私生活の言論はしてはならない」。したがって、ただ今の質問は法律違反で答弁しかねます。

問 当該女性の「えきまちテラス長浜」への採用経過、高額の給与、アパート紹介などはどうか問う。

答 特定人に特別の便

市立病院について

問 市長は、医師確保に全力投入すべきだ。病院経営が厳しい状況だが今後の見通しはどうか問う。

答 両病院長と一緒に、京都大・滋賀医大・岐阜大医学部長を訪問し一定の成果を得ており、引き続き努力します。

病院経営は非常に厳しい状況ですが、地域住民の健康保持に必要な医療の提供を念頭にしっかりと行います。



交通安全対策について



浅見 勝也 (市政会)

市民の安心安全の確保を!

問 ①第10次長浜市交通安全計画の進捗状況等について

②レッドゾーン指定に対する取組について

③道路区画線類の整備や交通安全標識等の維持管理について

④ゾーン30の導入について

⑤市内の信号機の設置及び撤去について問う。

答 ①交通事故の発生件数、死傷者件数は年々減少、高齢者に対する事故防止策の推進が課題です。

②特に交通安全啓発をすべき場所であり、周知や啓発活動を行っていきます。

③国からの交付金を財

源に整備、改修、修繕を進めていきます。

④自治会等からの要望を基本とし、警察や公安委員会と連携し進めていきます。

⑤市内での各要望の実現に向け副申を行い、撤去時の代替の交通安全対策を警察署に働きかけていきます。



消防水利の維持管理について

問 ①防火水槽の耐久性及び耐震性について

②市内の消火栓の維持管理について

③消火栓ボックス内の器具盗難について

④テロ防止対策について問う。

答 ①旧市町の消防水利台帳を整理、現地確認を実施し、耐震性を有する防火水槽を計画的に整備していきます。

②公設消火栓として、地元自治会等と協議し、適正な維持管理に努めています。

③過去5年間で盗難被害の報告は無く、今後自治会等に対し、資機材の管理、点検等の周知を行っていきます。

④悪意をもった行為等も考えられ、上水道への影響がないよう定期的な点検の実施等を強化していきます。

子どもの見守り防犯対策について



鋒山 紀子 (公明党)

問 子どもの見守り防犯対策の現状について

いるところですか。

問

答 子どもの見守り防犯対策は、警察、教育

機関、PTA、地域の各種団体との連携協力のもと、活発な取組を行っているためです。

具体的には、市内966箇所に「子ども100番の家」、いわゆる黄色のコーンを設置し、緊急時の避難場所を確保するほか、防犯メールの登録者1万人余りへ不審者情報などのメール配信、毎日、下校時の防災行政無線を使った見守り活動の呼びかけなどを行って

す。

このため、今まで中心となって活動して

いただいた防犯自治会以外に、各地区の地域づくり協議会や自主防犯

団体、さらに長浜農業

高校、伊香高校の高校生ボランティアアグルー

プなど、新たな担い手の発掘や育成を進め、

さらにこれら団体とのネットワークを広げ地

域の防犯力の拡充を図ることが必要であると

考えております。

今後も、地域づくり協議会や市民活動団体

と連携し、協働による安全で安心なまちづく

りに取り組んでまいりたいと考えております。

答 防犯対策は、警察や防犯関係団体等の協力のもと取り組んでいますが、人口減少や少子高齢化が進むなか、活動の担い手の確保が課題となっております。

地域振興対策について



森田 義人 (要)

問 市町合併から8年

が経過、支所機能の縮小で地域における行政

の存在感が薄れ、これまで培ってきた課題解

決への行政と住民との連帯性が弱体化してい

る。

問 現状認識と今後の具

体的対策を問う。

答 地域課題の解決のみならず、市政運営を

進めるうえでは行政と地域住民とが連携し協

働することが重要との認識をしております。

地域づくり協議会への地域支援職員の派遣、市民活動支援室の設置、一括交付金の創設等の体制を整えてきま

子ども読書活動について



森田 義人 (要)

問 市子ども読書活動

推進計画の第1次、第2次の成果と課題を問

う。

答 成果は子どもたちの読書環境の整備が進んで、多くの場所です

書の楽しみを知ってもら

う機会をつくること

ができたことです。

問 課題は、乳幼児期に

おける家庭での二極化

と、中学生から大学生

へと学年があがるにつれて読書量が減少しており、子どもと本をつ

答 今年度から法人化支援による選択型一括交付金制度を創設しました。地域づくり協議会が共助社会の核となり地域住民から信頼されるよう支援を行ってまいります。

問 第3次計画以降の展望を問う。

答 第3次計画以降も継続して取り組んでいくことが必要と考えています。

高時川の濁水対策について



轟 保幸 (新しい風)

問 高時川の濁水対策

については、河川管理者とどのように協議しているのか。また、今後の方針を問う。

答 昨年夏頃から高時川の濁りが長期化していることについて、河川管理者の滋賀県や関係機関などと連携し、

昨年以降継続して観察や調査をしています。濁りの原因は、昨年の台風等の豪雨により、山

地から河川に流出し堆積した土砂や元々河床に堆積していた土砂が、川の増水によって舞い上がり濁っていると推察されます。

一時期に比べると濁りは改善しているように思われますが、上流、中流の漁場のアユの成長や釣果への影響

が心配されます。

市としても、濁りの改善がみられるか引き続き注視し、河川管理者の県の対応が早期確実に行われるよう要望してまいります。

余呉湖の観光振興について

問 余呉湖の観光振興に対する市の考えを問う。

答 余呉湖周辺には、年間約8万人の観光入込客があり、特に春の桜やサワオグルマ、初夏のアジサイ、冬のワカサギ釣りには、遠方からもたくさん

の観光客に来ていただいています。

今後は、羽衣伝説等の地域資源や新たな資源を含め、「磨き」の魅力を発信するこ

と」で余呉湖や余呉地域、北部の観光、地域振興に繋げていきたいと考えています。

問 荒廃した観光施設に対する市の方針を問う。

答 余呉湖周辺の遊休施設は、余呉湖荘、キャンプ場、農林漁業体験実習館があり、未利用の状態です。

維持管理費用がかかっていることもあり解体してしまうことも方針の一つですが、自然公園法等の規制により、再び施設を建設することは困難であり、今後地元の協力体制や意向が重要であることを踏まえ、検討を進めます。



旧七尾小学校の建物、跡地等の利用について



矢守 昭男 (無会派)

問 旧七尾小学校は、

地域の皆さんの支えによる141年の歴史に幕を下ろし、閉校式、セレモニー等が開催された。

地域の中心となる学校の建物の利用について

今後、どのような認識のもとで建物、敷地利用を進めていくのかを問う。

答 学校は身近な施設として、地域の貴重な

財産に変わりありません。跡地利用を考えるうえで地域活性化につながるアイデアや地元

の考えを集約できる体制づくりについて、地元連合自治会に協力をお願いしているところ

です。引き続き、地域「ミニユニティ」に根づく跡地

が見込める移転先の本格的な検討に入ったところ

高齢者を守る被害対策について

問 高齢者の生きがい、福祉の観点から耕作地を守る方策について問う。

答 地域のけん引役として、農業委員や獣害対策アドバイザーのご尽力のもと、集落ぐるみでの防護柵の設置が進み、被害は年々減少しているところです。

個別の対策では費用面だけでなく、日常管理も高齢者の方には負担となるため、面的な対策を進め高齢者の方が安心して作物を育て収穫していただける環境づくりを推進したいと

考えます。

等総合管理計画の個別施設計画に基づき、浅井地域で複合的な効果

余呉町農村下水処理場問題について



西尾 孝之 (無会派)

問 余呉町中之郷の処理場について、大量の不明水に対応するためポンプを据えて汚い水を直接外部に流しているように見えます。

答 平成25年の異常降雨時に、短時間に大量の汚水が流入したことで、施設内が床上浸水し、機器の故障が危ぶまれたことから、緊急対応として処理槽に仮設ポンプを設置し、施設外に流入水を強制排出しました。その後も異常降雨時の対応のため、仮設ポンプを設置したまま緊急対応しておりました。

管路調査を平成27年度以降計画的に継続して実施し、不具合箇所が判明し次第、修繕を行うてまいりました。

問 今後の予算対応等はどうなっていますか。

答 引き続きの管路調査による不明水の対策、管理者と連携し処理場の修繕を行うとともに、計画的に設備機器を更新するなど、処理場の能力を低下させないよう維持管理に努めます。

市長の不倫テレビ報道について

問 週刊誌の記事を事実無根というならば、その根拠は何か。この件を取り上げたテレビ放送においても説明責任があるといわれています。市長の考えを問う。

答 一切の法律違反を犯していませんし、道義違反も犯しておりません。すでに説明責任を果たしております。

スケートボードについて



中川 リヨウ (改革ながはま)

問 公共スケートパークの整備もしくはスケートボードができる環境の提供は可能か、またこのような場所を整備することでその管理や運営を若い世代に委託し、若者の社会参加を促すことができるか。

答 本市では、長浜市民庭球場の整備をはじめ、(仮称)北部地域総合体育館の建設、浅井ふれあいグラウンドの改修など大規模なスポーツ施設の整備に加え、体育館の耐震化やスポーツ施設の修繕を行い、若者から高齢者までの幅広い世代の皆さんが気軽にスポーツに親しめる環境づくりを順次進めているところです。

また、「ながはまスポーツ夢プロジェクト」や「幼少年期スポーツ教室」、「ジュニアアスリート育成プログラム」など、東京オリンピック・パラリンピック、滋賀国体・全国障害者スポーツ大会で主力となる、ゴールデンエイジと呼ばれる子どもたちの体力、競技力の向上に積極的に取り組み、ソフト面にも特に力を入れているところです。

計画はないとのことだが、場所の提供についてはどうか。

答 スケートボード競技者の組織化がされれば可能と考えております。

病院経営について

問 慢性的な医師不足・低い診療報酬という厳しい環境のなか、赤字幅はプランの見込額よりも多い状況である。その要因と今後の対策について問う。

答 今後の対策としては、収益面では常勤医師の確保を図るとともに、地域包括ケアの推進により、入院患者数をしっかりと確保する必要があります。

また、支出面では、委託業務の一元化や、診療材料の安価な購入など、あらゆる視点で業務の効率化によるコストの削減に努めてまいりたいと考えております。

問 現段階では整備の

長浜市教育長の所信を問う



竹本 直隆 (新しい風)

うが、適確な対応についての見解を問う。

問 学習指導要領が改訂され、より良い学校教育を通じて、どのような資質、能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携協働によりその実現を図っていくと謳われている。教育長の取り組み姿勢は、どのようなものか問う。

答 改訂の趣旨を具体化するために、社会の変化に伴い必要となる資質、能力を踏まえた教科、科目等の目標、内容の見直しや主体的、対話的で深い学びの視点からの学習課程の改善に取り組んでいます。これまでの教育実践の蓄積を若手教員

問 学力テストについて、滋賀県は全国の学力テストでは低迷を極めている。教育長の見解を問う。

答 教育活動の全てを測れるものではないが、学力テストの結果が伸び悩んでいることについては、重要な課題と認識しています。現場の声を聞き、専門家の指導を受けながら、新たな学力向上策を打ち出したいと考えています。

問 長浜市においてもいじめ問題はあり対応に苦慮されていると思

答 すべての児童生徒に「いじめは決して許されない」ことの見解を促し、子ども目線に立ったいじめの把握と学校の組織的かつ丁寧な対応が重要であると考えます。

問 学校施設管理について、子どもたちの安全に関わる諸問題や要望などにも情報の共有が必要と思うが、見解を問う。

答 今年度、学校訪問において、施設の状況を直接確認し現場の声を聞くための場を設けており、子どもたちにとってより安全で快適な環境を提供します。

「えぎまちデブス長浜」のニューチャレンジジョブとしてグランドオープン後の状況について



吉田 豊 (改革ながはま)

今回の経営改革について問う。

答 経営改善計画は、「営業部門の強化」「会社の体力強化」「公益に資する事業」の三つの取組に分けられ、これらを一体的に実施することにより、その効果が発現すると考えています。

営業部門と会社の体力強化は着実に実行されており、オープン後約1ヶ月の売上げは、目標の2.4倍に対し3.8倍強と目標を達成している状況です。

公益に資する事業については、大きな課題であり、駅周辺駐車場の共有化に向けて関係者と協議を重ね、実現に向けて取り組んでいます。

長浜駅西側のまちづくりの展望について

問 駅西側は観光や市民の憩いの場の玄関口である。しかし、まだ更地も多い住宅地であり条例規制も特に無い地域のため、その景観や調和が懸念される。この現状に対する見解を問う。

答 駅西側は、都市計画法により「第一種住居地域」として、まちづくりの基本となる用途や高さ等が定められています。また、色彩などの景観、周辺緑化、駐車場の設置等の指導について市の「景観条例」や「中高層等建築物に関する指導要綱」の適用を受けます

ので、市としては、それぞれの規定に照らし適正に指導してまいります。

新たな事業が計画された場合は、周辺地域との良好な居住環境の維持が重要であり、計画段階から事業者と地域住民で十分に協議していくことが大事であり、必要と考えています。

問 駅周辺の活性化と連携について問う。

答 駅東地区と豊公園をはじめとした駅西地区との連携はにぎわいを創出することにも繋がるものと考えており、動線が繋がるよう進めてきました。

一方で、住宅を中心としたまちが形成されているところであるので、地元が主体となり、将来のまちの姿を描かれることが重要と考えています。

今後の観光振興について



佐金 利幸 (新しい風)

問 石田三成の大河ドラマ起用実現にアピー

ルをされてきたが、2020年度は明智光秀の「麒麟がくる」に決まり、かなりのトーンダウンが感じられる現状である。

答 地元の意見を聞き、今後の対応策が必要であると思うが、当局の見解を問う。

問 平成26年度から彦根市、米原市と連携する「びわ湖・近江路観光圏活性化協議会」において、石田三成公の情報発信を行い、地元三成公顕彰会をはじめ観光協会等と「三成会議」を組織し、機運醸成を図ってまいりまし

た。今年8月24日には東京NHK本社へ赴き、3市の市長による要望を行う予定です。

大河ドラマ実現に向け、継続した熱い要望活動が必要と考えております。息の長い取組となりますが、議員各位の力強い後押しをお願いいたします。

問 北陸新幹線の敦賀延伸が4年後の2022年度に近づいてきた。明治15年に北陸本線として開業したのは長浜〜敦賀間である。

答 そこでSL北びわこ号の運転を敦賀まで延伸し、北陸新幹線から降り、敦賀〜米原間はSL、米原から東海道

新幹線と考えたとき、現代の高速鉄道とSLのマッチングは話題を呼ぶと思うが、当局の考えを問う。

答 ご提案のSL北びわこ号の敦賀駅までの延伸については、明治15年に国内で7番目に敷設された敦賀〜長浜間の鉄道を彷彿させるとともに、現代の鉄道技術の粋を集めた最新の幹線と、新旧の鉄道シーンが交わることは、鉄道ファンのみならず、非常にインパクトがあるものと考えます。しかしながら、非常に課題も大きいものと想像されます。今後、滋賀県、福井県に

提案することにも、JR西日本へ検討いただくよう働きかけます。

後、滋賀県、福井県に提案することにも、JR西日本へ検討いただくよう働きかけます。

総合型地域スポーツクラブについて



柴田 光男 (市政会)

問 スポーツの振興だけでなく健康増進や豊かな「ミニユニティ」の創造に寄与することが目的の総合型地域スポーツクラブ。未組織地域の設立と、組織充実のための運営支援について問う。

答 設立準備委員会の立ち上げを支援いたします。クラブの運営基盤の安定を図るため地域の実情に合わせ、運営体制のあり方の助言・支援と指導者育成のため研修会を活用して指導者確保に努めます。

問 一人暮らしの高齢者、身寄りのない高齢者が増加している今日、人生の最後に備える終活

答 支援として「エンディングノート」の無料配布や終活支援サポートの充実について問う。

「終活」支援について

問 一人暮らしの高齢者、身寄りのない高齢者が増加している今日、人生の最後に備える終活

答 市では出前講座等

の紹介、無償配布を行

つていますが、他市の

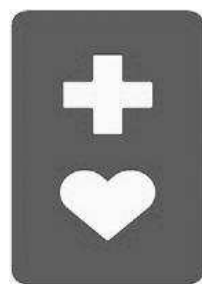
先進的な取組等を参考

に、より一層の普及啓

発に努めます。



しょうがい者支援「ヘルプマーク」の普及について



問 内臓疾患や難病の方、義足、人工関節を使用されている方など援助や配慮が必要とされている方に「ヘルプマーク」の配布を。

答 この取組は、市民の皆さんの理解と支援が重要である。認知度向上のための施策を問う。

答 市でも関係機関で無償配布をしております。まだまだ認知度が低いことから「長浜市しょうがい福祉プラン」のアクションプランに追加しており、引き続き、積極的な啓発に努めます。

いじめ対策について



草野 豊 (改革ながはま)

問 いじめの増加傾向について、入学した児童生徒のいじめは、今日までに報告はあったのか。過去の発生件数をたどつての考え方を問う。

答 入学した児童生徒のいじめの認知件数は5月末日時点で、小学校0件・中学校5件でした。いじめの認知件数は、平成27年度91件・平成28年度146件・平成29年度205件と増加傾向にあります。

しこまいます。

問 いじめの相談について、朝起きてこない・学校に行きたがらない等、不安を感じた時の相談窓口がはつきりしているのか問う。

答 様々な媒体を活用し周知を図っているところですが、いじめが発生した際には、担任だけで抱え込むことなく、学年や学校全体で組織的に対応し、一丸となって対応にあたることとして

増減のみをもって評価するのではなく、教師側の「少しの変化も見逃さない」という前向きな意識の表れだと捉えています。

初期段階において積極的に認知・対応し、子どもたちの成長を促

に許されないという意識を児童生徒に徹底しているのか問う。

答 いじめという行為は絶対許されないことを発達段階に応じて指導していく道徳や、学級活動・部活動など様々な教育場面において、繰り返し理解させなければならぬと考えます。

あらゆる教育活動を通して、他人を思いやる心や正義を大切にすることを、いじめを許さない学校づくりに努めなければと考えます。

児童生徒への意識の徹底のため、繰り返し粘り強く指導していくことで、先生も一生涯命取り組んでいることを子どもたちに示すことが重要であるという認識のもと、各学校で尽力しています。

いじめは人として絶対

水道企業団事業への財政支援について



中島 康雄 (改革ながはま)

問 北部地域への整備と維持に伴う財政支援について問う。

答 北部地域の、安定的な供給を行うため必要な統合整備に係る支援について検討します。

問 人口減少下でのまちづくりについて

答 農業産業法、地域未来投資法を活用し、地域の強みを生かしながら地域の成長や発展の基盤を整えるべきと提案する。

賤ヶ岳リフト持続への支援について

問 クラウドファンディングを取り入れるなど観光資源の継承発展につなげるよう提案する。

答 湖北随一の絶景スポットであり、大胆にイメージ転換を図りながら観光客誘客に積極的に取り組みます。

う活用するのか当局の方針を問う。

答 空き家情報の提供や活用を推進することにも、空き室については、民間住宅借り上げ制度を検討するため空き部屋の状況把握に努めています。

再生可能エネルギー導入について

問 定置型蓄電設備について補助制度の充実を提案する。

答 地域未来投資法に基づき基本計画を、県内19市町村共同で策定、事業者が支援メニューを活用できるように体制を整えています。

空き家対策と住宅政策について

問 市内の空き家や多くの賃貸住宅空室をど

注) なお、本補助については、これまでに太陽光発電(ソーラー)の補助を受けておられる方は補助の対象となりません。

通学路の安全対策について



山崎 正直 (新しい風)

問 地下道の安全対策について問う。

答 市内には歩行者横断用の地下道が、市管理が7か所、県管理が7か所あり、それぞれ

通行者の安全確保のため、基準設置に基づく照明灯などの維持管理に注意を払っています。

また、周辺に生育する草木の伐採等の維持管理や、雨水等での冠水等による事故防止のため、排水設備の定期点検等を行っています。

問 防犯カメラの設置について問う。

答 通学路等における子どもの安全確保には、保護者、学校、地域の皆さま、警察や市などが連携・協力して

取り組んでいます。防犯パトロール、スクールガードなどの見守りが、より抑止効果が高いと考えています。

問 スクールガードへの支援について問う。

答 ジャンパーや反射ベスト、帽子、腕章、安全旗など必要な物品を配布しています。

保険にも加入していますが、今後はさらに保障の高いものへの交換も検討していきたいです。

問 子ども110番の家について問う。

答 3年前には1,020か所ありましたが、現在は児童数の減少や学校の統廃合にもなっており、966か所と減少しているものの、設置場所の見直しや整

理を行い、必要数は確保しています。

今後もし引き続き地域や学校関係者、警察等と連携して対応していきます。

問 長浜北高の通学路について問う。

答 5月に全校生徒を対象に通学路のアンケートを実施しました。

今後データに基づく主要な通学路の状況等を把握したうえで、学校、公安委員会、土木事務所、市で協議を行い、危険箇所の修繕や改修など安全な通学環境の整備に向けて取り組みます。



就学援助制度について



鬼頭 明男 (日本共産党)

問 文科省の調査では、2018年、入学

助成金を入学前に支給する自治体は小学校で711自治体(40.6%)、中学校で856自治体(49.1%)となり、全国では進んでいる制度だが、本市でも入学援助金を入学前に支給するべきではないか問う。

答 本市におきましても、必要な援助が必要な時期にできるよう、実施に向けて引き続き検討していきます。

問 学校給食の納入希望業者について

答 統合によって続けていけるのだろうか心配されている。統合によって市内の業者へ

の影響はないのか問う。

答 給食物資の入荷状況を把握しながら、発注数量を分割するなど、見積もり方法の見直しを検討し、少しでも多くの地元業者が札に参加していただけるよう、説明会を開催するなど積極的に働きかけていきます。

問 長浜観光協会と奥びわこ観光協会について

答 長浜観光協会と奥びわこ観光協会は、少し地域性もあり、進められたことに違いがあるのではないかと。お互いが今まで築き上げてきたことが大事である。このこと抜きに

は、前向きに進んでいかなければいけないか。やめていかれた方の声も含め、地域性を大切にしながら今後の計画が必要ではないか問う。

答 統合前は394、統合後は313の会員数です。会員数が減った原因としては、奥びわこ観光協会が解散し、公益社団法人長浜観光協会に新たに会員として加入する形となったため、奥びわこ観光協会の会員が全て、長浜観光協会に入会されなかったことにある。

今後随時、会員の加入受付を進めていきます。会員獲得に向け、魅力ある取組や事業を推進していただきたいと思います。

個人一般質問

河川整備事業と災害に強いまちづくりについて



西田 定幸 (新しい風)

携を結んでいる施設を指定し、「福祉避難所」を開設いたします。

問 丹生ダム建設の中止を受け、「ダムなき治水」の実現に向け、河川

整備事業に取り組んでいただいているが、進捗状況について問う。

答 姉川・高時川は、昨年度から交付金事業による整備が始まっています。河口から上流に向けて、測量・詳細設計を実施中で、次年度以降には、用地買収と工事に取り掛かっています。ただけるものと考えています。

問 河川整備に係る期間と予算規模について問う。

答 姉川・高時川の河川整備事業費としては、20年間で80億円となっていますが、この額にとらわれることなく、事業を早期に

確実に進めていくことが大切であると考えています。

問 「中村家住宅の重要文化財指定答申について

長浜市としての今後の対応について問う。

答 江戸時代の代官屋敷が、当時の姿で保存されていることは驚きであり、誇りでもあります。代々継承されてきた中村様に頭の下がる思いです。「長浜の宝」として、中村様の意思を尊重して、保存修理や公開に向けた支援を行ないます。

問 特別な支援が必要な方の、避難場所の確保について問う。

答 指定避難所の集団生活では支障をきたす要配慮者を受け入れるため、避難所に「福祉避難室」を設け、それでも安全に過ごせない方は、福祉避難所開設の提

望としています。

また、地元の八木浜自治会との協力連携を行い、防犯・防災対策、説明看板の設置、駐車場の問題解消等を進めてまいります。

平成30年長浜市議会 第2回定例会議決結果表

議案番号	案 件	賛成少数	否決	新しい風				改革ながはま		日本共産党		要		市政会		公明党		無		無		無			
				佐金利幸	柴田清行	竹本直隆	轟保幸	西田定幸	藤井正直	山崎繁	草野豊	中川リョウ	中嶋康雄	吉田豊	浅見信夫	鬼頭明男	竹内達夫	石田節子	松本長治	森田義人	浅見勝也	阪本重光	柴田光男	東久雄	鋒山紀子
決議案第1号	藤井勇治市長に対する辞職勧告決議	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×

※ 表内の「○」は賛成、「×」は反対を表します。 ※ 議長の柴田清行は採決に加わりません。 ※ 党派名の「無」は、会派に属さない議員です。

全員一致で賛成可決・承認・同意したもの			
第66号	専決処分事項の承認を求めることについて (専決第2号) 専決第2号 平成29年度長浜市一般会計補正予算(第11号)	第75号	長浜市民スポーツ施設条例の一部改正について
第67号	専決処分事項の承認を求めることについて (専決第3号) 専決第3号 長浜市税条例の一部改正について	第76号	長浜市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
第68号	平成30年度長浜市一般会計補正予算 (第3号)	第77号	長浜市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
第69号	平成30年度長浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	第78号	長浜市番号法に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部改正について
第70号	平成30年度長浜市病院事業会計補正予算 (第1号)	第79号	工事請負契約について ※虎姫まちづくりセンター改修工事
第71号	平成30年度長浜市公共下水道事業会計補正予算 (第1号)	第80号	市道の路線の廃止及び認定について
第72号	長浜市税条例等の一部改正について	第81号 ~ 第100号	農業委員会の委員の任命について
第73号	長浜市農業集落排水処理施設条例の一部改正について	委員会提出 議案第2号	長浜市議会会議規則の一部を改正する規則
第74号	長浜市公共下水道事業に係る受益者の負担に関する条例の一部改正について		

議会だより表紙の写真・イラスト等を募集しています!

- ・未発表のもので、写真は長浜市内で撮影したものに限りです。
- ・編集上、作品のトリミングを行う場合がありますので、ご了承ください。
- ・風景、人物は問いませんが、被写体の承諾を得たものに限りです。
- ・①作品タイトルや撮影場所、②採用者のご氏名、③町名等を公表させていただきますので、お知らせください。
- ・写真・イラスト等データを市議会事務局 (gikai@city.nagahama.lg.jp) へ8月末日までに送信ください。11月1日発行号(予定)で掲載します。
- ・採用は市議会広報広聴委員会で決定し、著作権は長浜市議会に帰属します。



▲今回の応募作品の一つ「にじいろのさかな」(市内小学校2年生)

※今号の表紙：「水かがみ」(奥びわスポーツの森) 鐘紡町 桑原多津子様

今後の会議予定(7月15日以降)

8月9日(木)	臨時議会
9月3日(月)	第3回定例会開会日
9月12日(水)	会派代表質問
9月13日(木)・14日(金)	個人一般質問
9月18日(火)	産業建設常任委員会、予算分科会、決算分科会
9月20日(木)	健康福祉常任委員会、予算分科会、決算分科会
9月25日(火)	総務教育常任委員会、予算分科会、決算分科会
9月28日(金)	予算常任委員会、決算特別委員会
10月2日(火)	第3回定例会閉会日
10月18日(木)	定例常任委員会

※(日程は変更される場合があります)
このほかにも随時、議会運営委員会等が開催されます。詳しくはホームページまたは議会事務局でご確認ください。

議会の会議を 傍聴 しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんから選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

編集 後記

市議会のホームページを是非ご覧ください。

<http://www.city.nagahama.lg.jp/category/2-0-0-0-0.html>



◇夏の青空のまぶしい季節となりました。今期最後の「ながはま市議会だより」をお届けします。

◇第2回定例会では、市民の皆さまからいただいた貴重なご意見をもとに、私たち市議会議員が様々な質問で、市に見解を問いました。

◇市民の皆さまにとつて、住みよい長浜市になるよう、また、何よりも信頼される議会を目指すためには、議員自身が日々努力し、行政のチェック機関として責務を果たすことが求められます。

◇まだまだ数多くの課題を抱えておりますが、市民の皆さまのご協力のもと、皆さまからのご意見・ご要望などの声を反映しながら、今後も努力してまいります。

◇暑さが日ごとに増し、熱中症が心配されます。こまめに水分・塩分補給をして、どうか体調管理にご注意ください。

ながはま市議会 広報広聴委員会
TEL 65-6547